

出雲医療生活協同組合
2023年11月30日現在

組合員 14,867人
配達世話人 765人
出資金 3億9,222万円
(平均出資額 26,382円)

すこやか

第440号
2024年正月号
発行
出雲医療生活協同組合
〒693-0021 出雲市塩治町1536-1
TEL (0853) 21-8108 (まちサボ課)
ホームページ: www.izumo-hewcoop.jp



広がる共同のまちづくり! ～みんなの子カラで住み心地のよい地域へ～

出雲第二中学校の生徒さんと『まちなか清掃』を実施しました!



生徒さんと組合員さんが一緒に…

昨年の「まちなか清掃」の際、偶然に出会った出雲市立第二中学校の生徒さんと引率の先生と「来年は是非一緒に取り組みましょう」とお話ししました。その言葉どおり、出雲市民ボランティアウィーク(11月18～25日)の前に取り組むことができました。出雲二中の生徒さん19名と引率の先生2名、地域の皆さん8名、職員4名の合計33名が、2チームに分かれ拾い歩きました。

「ゴミ拾いを通してお互いに学びあって…」

「またあった! 飲食店の近くやコンビニ前は、たばこの吸い殻や空き缶が多いね」生徒さんたちは植栽の中や溝蓋のすき間を丁寧にゴミを拾っていきま。タバコのフィルターは地球に還るのに100年かかるよ。時間経過したフィルターは小さくなって大気中を漂って私たちの体にも入り込むんだよ」と話す「わあ、大変だ!」と、さらに一生懸命に拾ってくれました。

また、一緒に歩いた地域の皆さんは「ボイ捨てする人の心理は理解できないが、植栽の中に隠すように捨ててあるゴミが多いのは、少しは後ろめたい気持ちがあるからなのかな?」や「活動していて車や人とたくさんすれ違いましたが、生徒さんや私たちがゴミ拾いしている姿



交流が繋ぐ支え合いの気持ち

引率していただいた狩野貴子教諭は「地域の皆さんと一緒に楽しく活動したことで生徒にもボランティアの気持ちが芽生えたのではないかと思います。出雲二中のさまざまな活動は地域の皆さんに支えられて成り



今年も飛躍の年にしましょう!

謹賀新年

JKK(神西、神門、古志支部)企画のグラウンドゴルフ大会(11月17日)

立っています。皆さんと取り組んだ「まちなか清掃」で多少の恩返しも出来たのでは…同時に子どもたちも「ゴミを正しく分別して捨てることをしっかりと学べたと思います。」と感想を頂きました。今年もさまざまな場面で出雲二中の皆さんと活動を共に「まちなか」を楽しく取り組めたいと思います。

すこやか文芸

(作者名は50音順・敬称略)

すこやか文芸コーナー

毎回多くの投稿をいただき、ありがとうございます。投稿は「各分野ごと」に葉書か便せんを使用して投稿してください。1枚につき「3首・3句」までです。1枚の中に短歌や俳句、川柳が混在しているもの、また誤字・脱字のあるものは採用出来かねますので、宜しく願います。(編集委員会)

短歌

孫一家来たる正月二日より我に春めく家の隅々
多伎町 孝行 光枝

店先にあれば買わずにいられないイチジク好きな多伎達菜柿
知井宮町 小玉 信恵

待っていた足の装具が出来てくるブギウギ並に歩み軽やか
大社町 西倉 美子

年新た流れる日々は早足でどこへも行かず弱る足腰
今市町 西島 秀正

俳句

※2月から4月は春の季語。5月は夏。できるだけ歳時記を使用されたい。

野仕事の果てなき岬や年詰まる
佐田町 内藤 允子

置床の備前ゆかしや実千両
湖陵町 森山 典子

傘寿かや鐘の余韻に去年今年
今市町 山田 裕人

川柳

福神祭出雲に春の幸がくる
大津町 今岡 健

挫折した夕陽が沈む地平線
大津町 加本 精一

朗報が諦めさせぬ老いの夢
松寄町 黒目 英男

風ばかり読んで一歩が踏み出せぬ
松寄町 多和田 博子

出雲場所力士と写真宝物
湖陵町 三原 信枝

日本丸ノール賞に行き着けず
湖陵町 森山 祐次

※応募のしめきりは毎月10日迄です。
組合員のみならず、気軽に応募してください。

湖陵町 三原信枝
八島町 布野安子
今市町 畑 澄
多伎町 孝行光枝

絵手紙募集中 みなさんの絵手紙を「すこやか編集委員会」までお寄せください。掲載させて頂いた方には粗品を贈呈します。

「令和五年すこやか文芸年間賞」

短歌

大社町 西倉 美子様

携帯の可愛いスタンプ押しまくる
どれを選ぶか心は乙女

受賞コメント…この度は、素晴らしい賞をいただき本当に幸せです。左手のみで頑張る自分へのごほうびと感謝しています。リハ友の勧めで短歌をはじめ、日々のあれこれを詠むのが楽しく生きがいになっています。これからも頑張りたいです。ありがとうございます。

俳句

佐田町 内藤 允子様

産土に老いて幸せ敬老日

受賞コメント…永い間には、時に悲しいことや辛いことも幾度ありましたが、この近年とても穏やかに過ごせている日部の中で、ふたと浮かんだ一句です。このような賞をいただき嬉しい限りです。これを励みに楽しみの一つとして続けたいと思います。本当に有り難うございました。

川柳

上塩治町 川上 住江様

竹槍と蕨人形が核に負け

受賞コメント…受賞ありがとうございます。作ったのはかなり前のことで忘れていましたが、受賞したことでまた当時のことを思い出しました。戦争を忘れないようにと作った川柳なので、誰かの心に残ってくれと嬉しいです。受賞できてとても光栄です。

組合員のひろば

●コロナが第五類になり、いろいろな規制がなくなくなり人が集まることの制限が緩和されました。スポーツや文化のイベントにも観客が大量に入るようになり嬉しいです。

●天津新崎町 本田さん (64歳)

●秋の海岸清掃が終わると、きれいな砂浜が海を眺めるととても気持ちがいいですね。また、奉仕活動に一緒にさせてもらいたいです。

●(松寄町) 柘植さん (48歳)

●今年インフルエンザが流行しているそう心配です。私は予約を入れたのでちよつと安心です。

●(荒茅町) 川上さん (75歳)

●特殊詐欺が後を断ちませんね、騙されるのは高齢者ばかりではありませんか。何故そんなことにはひっかるのか?と思つてしまいましたが、明日は我が身にやられるかもしれないです。

●(松寄町) 後藤さん (64歳)

●「すこやか」が配られるのが楽しみです。待っています。組合員の広場では出雲の四季を感じます。今我が家では大根漬けをしています。他人にあげて大喜ばれています。

●(知井宮町) 矢野さん (46歳)

●2023年は草刈りの回数が多くて疲れました。これからは少し楽になると思っています。

●(大社町) 川上さん (75歳)

●「すこやか」が配られるのが楽しみです。待っています。組合員の広場では出雲の四季を感じます。今我が家では大根漬けをしています。他人にあげて大喜ばれています。

●(知井宮町) 矢野さん (46歳)

●2023年は草刈りの回数が多くて疲れました。これからは少し楽になると思っています。

【評】自分の生まれ育った土地で生活し年老い、そこで敬老記念日を迎えられる喜び。率直に詠まれた佳句です。

【評】大戦末期の日本の姿を思わせる言葉で、核兵器廃絶に賛成しない今の日本を「負け」とうまくまとめられました。